

オンライン授業公開講座2022〈冬期講座〉

○受講生募集

熊本県立大学では、地域の方々が大学の正規授業を学生と一緒に受講する「授業公開講座」を平成2年度から実施し好評を得ていますが、新型コロナウイルス感染予防のため休止しています。

そこで、大学に来なくても自宅で受講できる「オンライン授業公開講座」を令和2年度より新たにスタート致しました。学生と同じ授業をご自宅で、自由な時間に、受講期間中は何度でも繰り返しご自分のペースで学べます。

今回は令和4年度・冬期講座として17講座をお届けしますので、この機会に新しい学びを始めてみませんか？（詳しくは熊本県立大学HPをご覧ください。）

応募期間 2022年10月5日（水）～10月23日（日）

受講料 1講座あたり5千円

受講期間 2022年12月～2023年3月

応募方法 熊本県立大学HPから→ <https://www.pu-kumamoto.ac.jp/>
熊本県立大学HP>「お知らせ」>[【受講生募集】オンライン授業公開講座2022・冬期講座]



講座一覧

※授業計画は変更する場合がございます。

No	講座名	講師名	授業計画	授業撮影時期
1	環境と生物圏	堤 裕昭	15回	2020年
2	比較文学講読Ⅱ	難波 美和子	10回	2022年
3	地域づくりと協働	澤田 道夫	15回	2022年
4	はじめての英語音声学	武上 富美	10回	2021年
5	公共政策論Ⅱ	井寺 美穂	15回	2022年
6	経営分析論	望月 信幸	15回	2021年
7	原価計算論	望月 信幸	15回	2022年
8	建築環境工学Ⅰ	辻原 万規彦	12回	2022年
9	建築環境工学Ⅱ	辻原 万規彦	12回	2022年
10	計量経済学	本田 圭市郎	15回	2021年
11	マクロ経済学Ⅱ	本田 圭市郎	13回	2021年
12	情報メディア論	石橋 賢	15回	2021年
13	プログラミングⅠ	石橋 賢	15回	2022年
14	マーケティング	丸山 泰	11回	2022年
15	消費者行動論	丸山 泰	11回	2021年
16	行政法Ⅰ	上拂 耕生	15回	2022年
17	行政法Ⅱ	上拂 耕生	15回	2022年

① 環境と生物圏

講師：堤 裕昭

講義内容

地球46億年の歴史の中で、地球の環境、そこに棲息する生物や生態系がどのような必然性と偶然性の中で形作られてきたかを解説します。

我々の棲む地球がどのようにしてできあがり、そこで生物が誕生して、どのような進化を遂げてきたのか、地球史と生物進化史の概要に関する知識を習得することを目標とします。

講義レベル：1年生向 授業計画：全15回 ●2022年度撮影



② 比較文学講読Ⅱ

講師：難波 美和子

講義内容

文学を理解することについてより深く考える方法を学ぶ。

文学作品を楽しむには、戦略が必要である。読書に必要なのは感性なのだというならば、感性とは何なのか、どのようにしてそれを養うのかを問うべきだろう。言語表現への感性は、無からは生まれない。作者の仕掛ける技巧を読み解くには、文学作品が持つ意味や背景、作家の技術について知らなければならない。

本講義では、テキストの読みと解釈を通して、文学批評の概念と現代文学批評の基礎を学ぶ。知識と方法を学ぶことで、積極的・生産的読者を目指そう。

講義レベル：2年生向 授業計画：全10回予定 ●2022年度撮影



③ 地域づくりと協働 講師：澤田 道夫

講義内容

協働とは、人と人の相互作用を通して社会の目標を達成していくシステムです。国や県、市町村などが行う様々な行政活動に人びとが参加し、行政と力を合わせていくことで、より良い地域を作り上げていくことが可能となります。

近年の景気悪化と行財政改革の流れの中で、行政が使用できる予算や人員は縮小の一途をたどっています。参加と協働は、このような社会情勢を背景として、いまや全国の自治体の政策における中心的な理念となっています。

この授業では、「参加から協働への発展」と「社会環境の変化」の関係や、「垂直的分権による協働」と「水平的分権による協働」の違いなどを学ぶことで、地域づくりにおける協働の持つ意義と、協働を進めるための条件について理解を深めることを目標とします。

講義レベル：3年生向 授業計画：全15回 ●2021年度撮影



④ はじめての英語音声学 講師：武上 富美

講義内容

一般音声学の基礎知識を習得し、英語における音の体系について理論的に学習する。

実際の発音練習を行い、英語によるコミュニケーションを円滑に図るために発音のスキル向上をめざす。

講義レベル：1年生向 授業計画：全10回 ●2021年度撮影



⑤ 公共政策論Ⅱ

講師：井寺 美穂

講義内容

公共政策とは、様々なアクターが関与しながら策定される「公共的な諸問題を解決するための活動案」のことです。公共政策は、一般に「問題認識」→「課題設定」→「政策立案」→「政策決定」→「政策実施」→「政策評価」のステップを経ながらサイクルとして終結するといわれています。本科目では、広義の公共政策とそれらが辿るステップに焦点をあてます。そのため、政府政策のみでなく、市民レベルや企業レベルの取り組みについても取り扱います。

本科目では、まずは公共政策がどのようなアクターのもと、どのように形成され、そして決定、実施、評価されているか、そのプロセスを科学的に分析・検討します。その上で、身近な社会問題を題材に、政策の立案に取り組みます。

本科目を受講することにより、公共政策の機能や役割はもちろんのこと、政策過程に関する知識を理解・習得し、より実践的に様々な諸問題を分析・解決する能力の向上を目指します。

講義レベル：3年生向 授業計画：全15回 ●2022年度撮影



⑥ 経営分析論

講義内容

本講義では、企業の経営状態を把握するための評価ツールとその利用方法について学習する。具体的には、企業が作成する貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書などを用いて企業の経営状態を把握する財務諸表分析について理解する。また、財務諸表だけではわからない企業の経営状況を把握するツールとして、ファイブフォース分析やSWOT分析などを学習する。

講義レベル：3年生向 授業計画：全15回 ●2021年度撮影

⑦ 原価計算論

講義内容

本講義では、原価計算の意義および目的を理解し、原価計算の理論的アプローチおよび計算手法について講義する。具体的には、製品を製造するために要した金額をどのように算定するかについて、その計算方法を理解するとともに、経営に役立つ情報として原価をどのように集計するかについても、若干ではあるが学習する。

講義レベル：2年生向 授業計画：全15回 ●2021年度撮影



講師：望月 信幸

⑧ 建築環境工学 I

講義内容

建築環境工学のうち、熱環境に関する基礎を解説しています。
内容は、建物内外の熱の移動、結露の仕組み、暑さ・寒さの感じ方、太陽の動きと日影などです。

知識だけにとどまらず、ものの見方や考え方も学べることを目指しています。
演習問題にも取り組んで、理解を深めてください。
高校卒業程度の数学や物理の知識が前提です。

講義レベル：2年生向 授業計画：全12回 ●2022年度撮影

⑨ 建築環境工学 II

講義内容

建築環境工学のうち、空気、光ならびに音環境に関する基礎事項を解説しています。
内容は、換気の仕組み、自然換気と機械換気、換気計画、光環境の基礎、照明計画、色彩、音の性質、吸音と遮音、騒音などです。

知識だけにとどまらず、ものの見方や考え方も学べることを目指しています。
演習問題にも取り組んで、理解を深めてください。
高校卒業程度の数学や物理の知識が前提です。

講義レベル：2年生向 授業計画：全12回予定 ●2022年度撮影

※基礎知識として建築環境工学 I 受講後が望ましい



講師：辻原 万規彦

⑩ 計量経済学

講義内容

計量経済学とは、統計学を基礎とし、データから様々な判断を行うための分析手法を学ぶ学問である。統計学に比べ、複数のデータの間の関係を調べる際に便利な方法である。この授業では、その基礎的な方法である回帰分析を主に取り扱う。また、質的情報を回帰分析中で扱うことが可能になるよう、数量化理論(ダミー変数)や質的変数モデル(ロジット、プロビット)にも触れ、より広範囲かつ実践的な方法の習得を目指す。

講義レベル：2年生向 授業計画：全15回 ●2021年度撮影



講師：本田 圭市郎

⑪ マクロ経済学Ⅱ

講義内容

マクロ経済学は、人間の経済活動を一国全体の集合体として捉え、そのメカニズムの解明を試みる学問である。

この授業では、マクロ経済学Ⅰの内容を基に、より現実的な分析が可能となるマクロ経済学の応用理論を習得し、実際に行われている経済政策や経済問題の影響の検証を自分で行うことができるようになることを目的とする。

講義レベル：2年生向 授業計画：全15回 ●2021年度撮影

お知らせ：教科書として、平口良司・稲葉大(2020)『マクロ経済学入門の「一歩前」から応用まで』(新版、有斐閣ストゥディア)を元に講義を進めるが、必須ではない。(練習問題などで使用予定)「マクロ経済学Ⅱ」は「マクロ経済学Ⅰ」を受講済みであることが条件。

12 情報メディア論

講義内容

ICT技術やサービスでは、多様なメディアを用いて情報を扱います。そのため、情報メディアを学ぶには、横断的に情報分野を知る必要があります。本講義では、ビジュアルコンピューティング、ヒューマンコンピュータインタラクション、バーチャルリアリティなどについて説明します。なお、情報分野に関する専門知識は必要ありません。

講義レベル：2年生向 授業計画：全15回 ●2022年度撮影

お知らせ：レジュメや講義補助資料はClassNotebookを利用予定。



講師：石橋 賢

13 プログラミング I

講義内容

多様なサービスの自動化が進む中で、私たちがその恩恵を受けることができるのは、プログラミングという自動化に向けた手段が存在しているからである。近年のプログラミングは、情報工学を専攻する人々のみならず、医療や芸術といった異なる分野を専攻する人々のあいだでも活用されており、社会科学を専攻する人々においても有用なツールとなる。本講義では、プログラミング言語C#を用いて、「プログラミング概論」で習得したプログラミングの基礎知識をさらに深める。C#の演習をとおして、プログラミングの基本三構造（順次処理・条件分岐・繰り返し）に関する理解を深めると同時に、プログラミングを実践できるスキルと知識の習得を目指す。

講義レベル：2年生向 授業計画：全15回 ●2022年度撮影

※Windowsのみ・プログラミング概論の知識を要します。

14 マーケティング

講義内容

近年、マーケティングは顧客満足を実現する考え方として、民間企業だけでなく、行政、自治体や大学、医療、福祉分野でも活用されてきています。

本講義では、マーケティングの基本概念を理解し、“人を気持ちよく動かす”マーケティングの仕掛け、仕組み、考え方について、その基礎を理解していきます。

具体的な事例紹介により、分かりやすくマーケティングを学んでいきます。

(付録) 学生とのQ&Aが付いて、より深い学びをサポートします。

講義レベル：2年生向 授業計画：全11回 ●2022年度撮影



講師：丸山 泰

15 消費者行動論

講義内容

消費者をよく理解することなしに、マーケティングは有効に機能しないと
言っても、過言ではない。

消費者の行動を、問題認識－情報探使－評価・選択－購買－購買後評価といった局面別に理解を深め、人々がどのような刺激によってどのような反応をするのか、そのメンタルモデルについて学んでいく。

単に理論を学ぶだけでなく、そのような消費者の行動を探索するリサーチの実際まで、消費者行動を理解していく知識とスキルを身に付ける。

(付録) 学生とのQ&Aが付いて、より深い学びをサポートします。

講義レベル：3年生向 授業計画：全11回 ●2021年度撮影

前提となる知識として、「マーケティング」を受講していることが望ましい。

16 行政法Ⅰ

講義内容

行政法学は、行政権の行使を法律によりコントロールすることを基本思考とする。行政法学は一般に、行政組織法・行政作用法・行政救済法の3大分野に分類されるが、本授業では、行政と私人との関係に規律する行政作用法の分野を中心に扱う。

行政法の議論は抽象的なものが多く、初学者にとってなかなかイメージしづらい。したがって、学生にとって非常に難解で、法学部でも「不人気」科目である。そこで本授業では、受講者になるべく具体的なイメージをもって学べるように、図解や比喩表現等を用いてわかりやすく説明する。

講義レベル：3年生向 授業計画：全15回 ●2022年度撮影

17 行政法Ⅱ

講義内容

この授業は、授業科目としての行政法のうち行政救済法、すなわち行政の違法・不当な行為に対して私人が救済を求める手続に関する法分野、なかでも行政訴訟、行政不服申立て、国家賠償、損失補償を扱う。

受講生は、行政法・行政救済法的基本的内容を知識として理解するとともに、判例その他具体的事例を通じて、具体的問題を解決する法的思考力や解釈方法を涵養して欲しい。

講義レベル：3年生向 授業計画：全15回予定 ●2022年度撮影予定



講師：上拂 耕生

募集要項

◇受講資格

- 1) 受講規約に同意すること。
- 2) 18歳以上であること。
- 3) 個人のメールアドレスを有し、メールの送受信を日本語でできること。
- 4) パソコン、タブレットを用いて、Youtube等で配信される動画を1時間30分程度、支障なく継続視聴できること。
- 5) 期日までに受講料の振り込みが完了していること。

◇募集期間

2022年10月5日(水) AM9:00～10月23日(日)

◇開講期間

2022年12月～2023年3月

◇募集人員

1講座20名

◇申込方法

申し込みフォームは熊本県立大学HPから→ <https://www.pu-kumamoto.ac.jp/>

熊本県立大学HP>「お知らせ」>[【受講生募集】オンライン授業公開講座2022・冬期講座]



◇受講生選定方法

応募者が募集人員(1講座20名)を超えた場合は、先着順で決定。

◇結果の通知

2022年11月初旬、申込者員に結果を通知いたします。

◇受講料

1講座5千円

◇必要な環境

受講用端末 : パソコン/タブレット (Windows 8.1 以降、MAC OS X 10.11 以降)
インターネット : 固定回線/モバイル回線

◇お問い合わせ先

熊本県立大学 地域・研究連携センター メール : renkei-c@pu-kumamoto.ac.jp 電話 : 096-321-6612 月～金曜日 AM9:00-PM4:00 (祝日は除く)